

だいじょうぶ
つながる
こそだて

だっこ通信

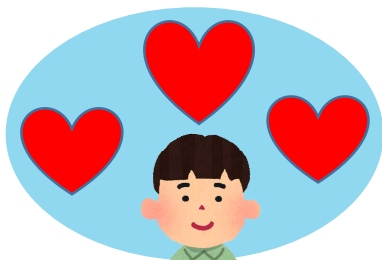
第62号 2025. 9月発行



きょうだいの子育て

きょうだいの子育てで悩むこと、ありますよね。親にとってはどの子どもかわいしいし、分け隔てなく接しているつもり。でも、子どもからするとどうでしょう。「弟ばかり可愛がられてズルい」とか「お姉ちゃんはあまり怒られなくていいな」とか、不満に思うことがあるかもしれません。上の子は、下の子が生まれた途端に「お姉ちゃんお兄ちゃん」になります。環境や立場が変わることで不安や寂しさを感じるのは当然なことだと思います。

きょうだい同じように可愛がっているつもりでも、子どもの受け止めは違っている・・・



がんばってるのに
ほめてもらえない

さびしいよ～



やさしくして
ほしい

おこらないで
ほしい

まだ小さいし、できないことが多いから
つい甘くなってしまうのかな。



同じように可愛がっているんだけどな。
しっかりしてほしいって思うから
つい厳しくなってしまうのかしら。



オンフーのつぶやき



確かな記憶として残っていないだけで、どの子どもたくさんの愛情をかけて育てられてきたと思う。でも小さい頃のことってあまり覚えていないし、子どもにとっては「今」が世界のすべて。だから目の前できょうだいの誰かが可愛がられているのを見ると、いいな～寂しいな～と感じてしまうんだと思う。赤ちゃん返りをしたり、今までできていたことをしなくなったり・・・。たぶんそれは心がへこんでいるよ～というサイン。そんな時はいつもよりもていねいに（感覚的には1.5倍くらいの愛情で）関わってあげるといいかも。

大人もそうだけど、言いたいことがあるのに言えない時ってあるよね。反対に、思ってもいないようなことを言ったりやったりしてしまうこともある。子どもならなおさら・・・。寂しさや不満、戸惑いや不安など、ことば以上に表情や視線、行動に表れるもの。そんな心のサインを見つけてあげることが大切だと思う。



発行者：さくら市生涯学習課（担当 s.suzuki）